



Tech Driven Disclosure
for Growth



2026年2月27日

各 位

会 社 名 株式会社 TAKARA & COMPANY
代表者名 代表取締役社長 堆 誠一郎
(コード番号 7921 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員総務部担当 中込 克二
(TEL. 03-3971-3260)

生成 AI 技術を応用したチェックオプションを **WizLabo** で提供開始
～ 「**Tech Driven Disclosure for Growth**」のもと、開示業務に要する高度な熟練チェック
の大幅な時間短縮を実現～

TAKARA & CO グループで、ディスクロージャー関連のシステムを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井 恒太）は、WizLabo シリーズで利用可能な新規オプションサービス「AI 記載チェック」と「AI 数値チェック」の提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、以下の添付書類をご覧ください。

以 上

2026年2月27日

各位

宝印刷株式会社
代表取締役社長 白井 恒太

生成 AI 技術を応用したチェックオプションを **WizLabo** で提供開始
～「Tech Driven Disclosure for Growth」のもと、開示業務に要する高度な熟練チェック
の大幅な時間短縮を実現～

TAKARA & CO グループで、ディスクロージャー関連のシステムを提供する宝印刷株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：白井 恒太）は、**WizLabo** シリーズで利用可能な新規オプションサービス「AI 記載チェック」と「AI 数値チェック」の提供を開始いたしましたので、お知らせいたします。なお、本オプションサービスは、現在特許出願中です。

1. 開発の背景

法令改正や投資家ニーズの多様化により、開示すべき情報の範囲は拡大と更新が続いており、企業が提出期間内に遂行すべきタスクは増え続けてきております。

生成 AI がビジネス活動における DX を強力に推進している昨今、ディスクロージャー書類作成における利活用においても高いニーズをいただいている中、宝印刷は、新たに制定したコーポレートブランドメッセージ「Tech Driven Disclosure for Growth」のもと、テック企業として法定開示領域における専門知識とノウハウを、**WizLabo** を起点にお客様に提供できないか模索してきました。

2. 新チェックオプション「AI 記載チェック」と「AI 数値チェック」の概要と特長

(1) AI 記載チェック

WizLabo で編集中の有価証券報告書の記載内容に対して、当社ディスクロージャー研究部の法令・ディスクロージャーに関する専門知識とノウハウを生成 AI と組合せた本機能で、記載チェック & レポーティングが行えます。

有価証券報告書の各目次に対する確認事項を生成 AI で細分化しチェックリスト化、生成 AI が有価証券報告書の記載内容を読み込み、チェック、および、判定する機能です。

判定結果は **WizLabo** 上でレポート表示され、記載内容不十分と判定された箇所には、

その判断根拠を明示します。

過去のチェックレポートも WizLabo 上に蓄積されますので、修正内容を再チェックした際に過去の判定と見比べることも可能です。

(2) AI 数値チェック^{※1}

WizLabo で編集中の有価証券報告書に対して、生成 AI が書類上の同一科目の数値を探し出し整合性判定結果をレポートします。

有価証券報告書上では、「売上高」ひとつでも「セグメントごとの売上高」を含む複数の「売上高」があるため、各々区別してチェックされる必要があります。

AI 数値チェックは、この違いも異なる科目と判断し、チェック結果をレポート表示します。

※1：AI 数値チェックは、WizLabo (Light/Plus/One/Suite) プランご契約社様のみご利用可能です。

これらの機能が、有価証券報告書を作成する過程において、自由なタイミングでの書類チェックを強力にアシストいたします。

<WizLabo 製品サイト>

URL : <https://www.wizlabo.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

宝印刷株式会社 総務部 (広報担当)

TEL : 03-3971-3101

以上